

災害対策用移動通信機器の貸出機器

災害時には被災自治体に対して、北海道災害対策本部等とも連携し、移動電源車や連絡用無線機等をプッシュ型により貸与するほか、臨時災害放送局の開設を支援します。また、平時の防災訓練での活用も可能です。
令和6年度からは能登半島地震の災害復旧活動等で活躍した衛星インターネット（スターリンク）等が貸出し可能となりました。

放送設備	周波数	送信出力	空中線系	付属装置
臨時災害放送局用機器 2設備（全国22設備）	76.1～94.9MHz	10～100W	アンテナ、伸縮マスト(1.3m～6m)、同軸ケーブル20m、ダミー抵抗（自然空冷式）	マイク、ヘッドフォン、電源ケーブル（ドラム30m）等



災害対策用移動通信機器	特徴
衛星インターネット（スターリンク） 4台（全国 46台）	携帯電話が使えない場所でWi-Fiを多人数で使える ポータブル電源、小型発電機もセットで貸出し可能
簡易無線：51台（全国 995台）	途中に壁など遮るものがなければ、3～4km程度の距離で通信が可能
MCA無線：10台（全国179台）	サービスエリア内のMCA端末間（中継局を中心に半径30km程度）で通信が可能
衛星携帯電話（ワイドスターⅡ、イリジウム、アイサットフォン）3台（全国41台）	南方の空が開けている屋外もしくは窓際に設置（イリジウムは天頂が開けている屋外）することで、携帯電話が通じない場所からの電話連絡が可能
公共安全モバイルシステム：4台（全国 48台）	携帯電話技術を活用した公共安全関係機関向けの無線システム トランシーバーアプリ搭載
可搬型蓄電池：6台（全国 78台）	スターリンクの連続使用時間： 約12時間程度 1512Wh
ICTユニット：1台（全国11台）	ICTユニットのWi-Fiエリア内でスマートフォン同士の音声通話等が可能。 また、衛星携帯電話等の外部通信回線と接続し、遠隔地との音声通話も可能。
公共ブロードバンドシステム 全国 11台（東京、大阪で保管）	災害等の現場において、対向通信により、映像伝送などのデータ通信が可能な VHF帯を使用した無線システム。伝送距離は最大25km程度

臨時災害放送局用機器

アンテナ ケーブル 電源ユニット 無線（WiFi）ルーター

ルーターケーブル（2m）

衛星携帯電話 MCA無線 簡易無線

公共安全モバイルシステム 公共ブロードバンド ICTユニット

移動電源車等	定格出力	定格電圧	連続稼働時間
移動電源車 1台	単相 5.5kVA	100V	36時間程度
移動電源搬送車 1台	搭載発電機 ガソリンタイプ：単相 2.8kVA LPガスタイプ：単相 2.2kVA	100V	ガソリンタイプ：11時間程度 LPガスタイプ：10時間程度
小型発電機 2台	ガソリンタイプ：単相 1.6kVA	100V/12V	定格負荷時：4.2時間 1/4定格負荷時：10.5時間



移動電源車 移動電源搬送車